

おひざのうえで

(副園長の子育ておうえん通信)(2020年3月)



「未来を生き抜く力」

せんりひじり幼稚園
副園長 安達かえで

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、大切な3月の日々を、みんなで幼稚園で過ごすことができず、残念で仕方ありません。本当だったらあんなこともできたのにこんなこともできたのに……。きっと頼もしい育ちも見せてくれただろうに……。と悔しい思いです。感染の不安から守ることが第一ですが、子どもたちが育つチャンス、学ぶチャンスが奪われていないか心配です。

休園が決まってから、「こんな事態の中で、私達ができることは何か。」職員で話し合いました。「少しでも日常に近い生活を過ごしてほしい。」「幼稚園との繋がりを感じてほしい。」という思いから、初日から毎日動画を配信することにしました。すると、保護者の方から「毎日配信される時間が楽しみで、待ち構えています。」「子どもが画面の先生に向かって返事をしたり、話しかけたりしていますよ。」「こっちの声も聞こえたらいいのに」などの感想が寄せられ、更にやる気が出てきました。画面の向こうの子どもたちの姿を想像しながら、配信を楽しんでいる担任達です。

そして16日からの登園に向けて準備をしていた矢先に、近くの町で感染者が出たとのことで、また、変更せざるを得なくなりました。「登園させてあげたい。」「でも感染は防がなければならない。」「短い時間ならいいかも。」「外ならいいかもしれない。」「……ということ、1クラスずつ登園。1時間の保育。場所は園庭。椅子を並べて「青空教室」をしました。子どもたちも先生たちも嬉しそうで、青空の下での保育もなかなかいいものでした。

近い将来、世の中はめまぐるしく変化し、不測の事態が起きる可能性の高い時代が来ると言われていましたが、既に始まっている印象です。答えのない時代に突入してきました。

そんなときに、悲観ばかりしていたり、誰かや何かのせいにしたり、不幸な状況を嘆いたりしているだけでは、何も事態は良くなりません。しっかり感染予防をしつつ、次への手立てやクラスに変えていく発想力を働かせて、事態を切り開いて行くときです。

子どもたちが入園したときからずっと、せんりひじり幼稚園で育んできた力、課題解決力、発想力、主体性、挑戦する心、などの宝物のような力が、これからの子どもたちの人生を支えていくことになるでしょう。

明日は卒園式。取りやめをするところがある中で、園庭で時間を短縮して卒園式を行う決断をしました。いっぱい遊んだ思い出の詰まった園庭です。園庭だからこそできることを考え、忘れることのできない卒園式にしたいと燃える私達です。

ピンチはチャンス。新しい発想で、豊かな未来を思い描き、卒園してからも、たくましく生き抜いていかれることをお祈り申し上げます。

.....

ご意見や感想があれば下記アドレスまでどうぞ。(必ずクラスとお名前を書いてくださいね。)

(返信はできないかもしれませんが・・・) kaede@hijiri.ed.jp